中国地域経済のグローバル化（中国地域経済白書２００７より）

エネルギア総合研究所　経済・産業調査担当　小早川　隆

1 はじめに

1998年以降，エネルギア総合研究所（当時は，経済研究センター）では，社団法人中国地方総合研究センターとの共同研究として，「中国地域経済白書（以下『白書』という。）」を毎年発行しており，本年で10回目を迎えました。白書は，中国地域の前年の経済回顧と特集テーマの二部構成になっており，今回は特集テーマとして「中国地域経済のグローバル化」を取り上げました。

このなかから，本稿では中国地域の貿易，投資の現状を中心に紹介します。

2 中国地域の輸出入

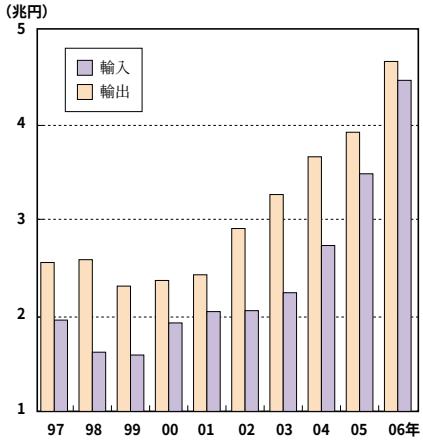
諸外国との貿易は日本経済にとって重要度が高く，近年では国際競争力を高めるために日本企業の海外進出や，海外企業との資本提携なども進んでいる。

中国地域は，もともと輸出依存度の高い自動車産業のウエイトが高く，一貫して輸出が輸入を上回って推移しており，2006年の輸出入総額は10兆円近く（図1）になっている（なお，日本全体では，輸出75.2兆円，輸入67.3兆円，輸出入総額142.5兆円）。

近年，輸出では自動車に加え，化学や鉄鋼などの素材系が増加しており（図2），素材産業が集積している中国地域の景気回復に好影響を及ぼしたものと考えられる。一方，輸入は原油価格の上昇により鉱物性燃料や，鉄鋼の生産活動を反映し金属鉱のウエイトが高まっている（図2）。

中国地域と諸外国との貿易関係をみると（図3），輸出では，東アジア（韓国・台湾・香港）向けが1兆2千億円と最大となっており，中国（7千億円），アメリカ（6千億円）と続く。日本全体では東アジア（15.2兆円）や中国（10.8兆円）向けよりもアメリカ向け（16.9兆円）が大きいことと比較すると，中国地域と東アジア・中国との輸出における緊密さが伺われる。

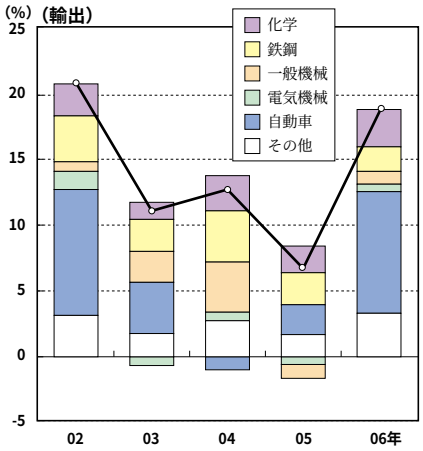
また，輸入では中東（1兆7千億円）を最大に，大洋州，中国，アセアン諸国がそれぞれ5千億円台，東アジアが4千億円と続いている。日本全体では，中国（13.8兆円），中東（12.7兆円），アメリカ（7.9兆円），EU（7.0兆円）となっており，輸入でも中国地域におけるアジア諸国との関わりは深い。

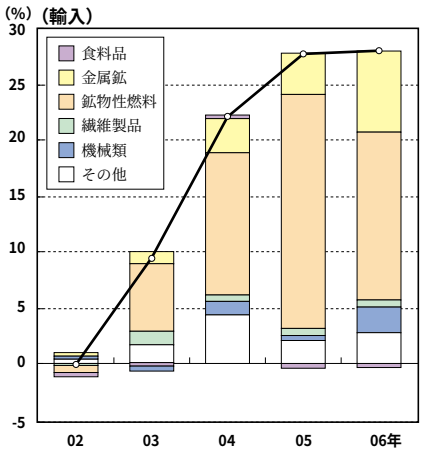


（注）　中国地域とは，鳥取県（境），島根県（浜田），岡山県（水島，宇野，岡山空港），広島県（広島，広島空港，呉，福山，竹原，因島，尾道糸崎），山口県（下関，萩，宇部，徳山，防府，平生，岩国）の各税関署所での通関合計額を示す

資料：神戸税関「中国圏貿易概況」

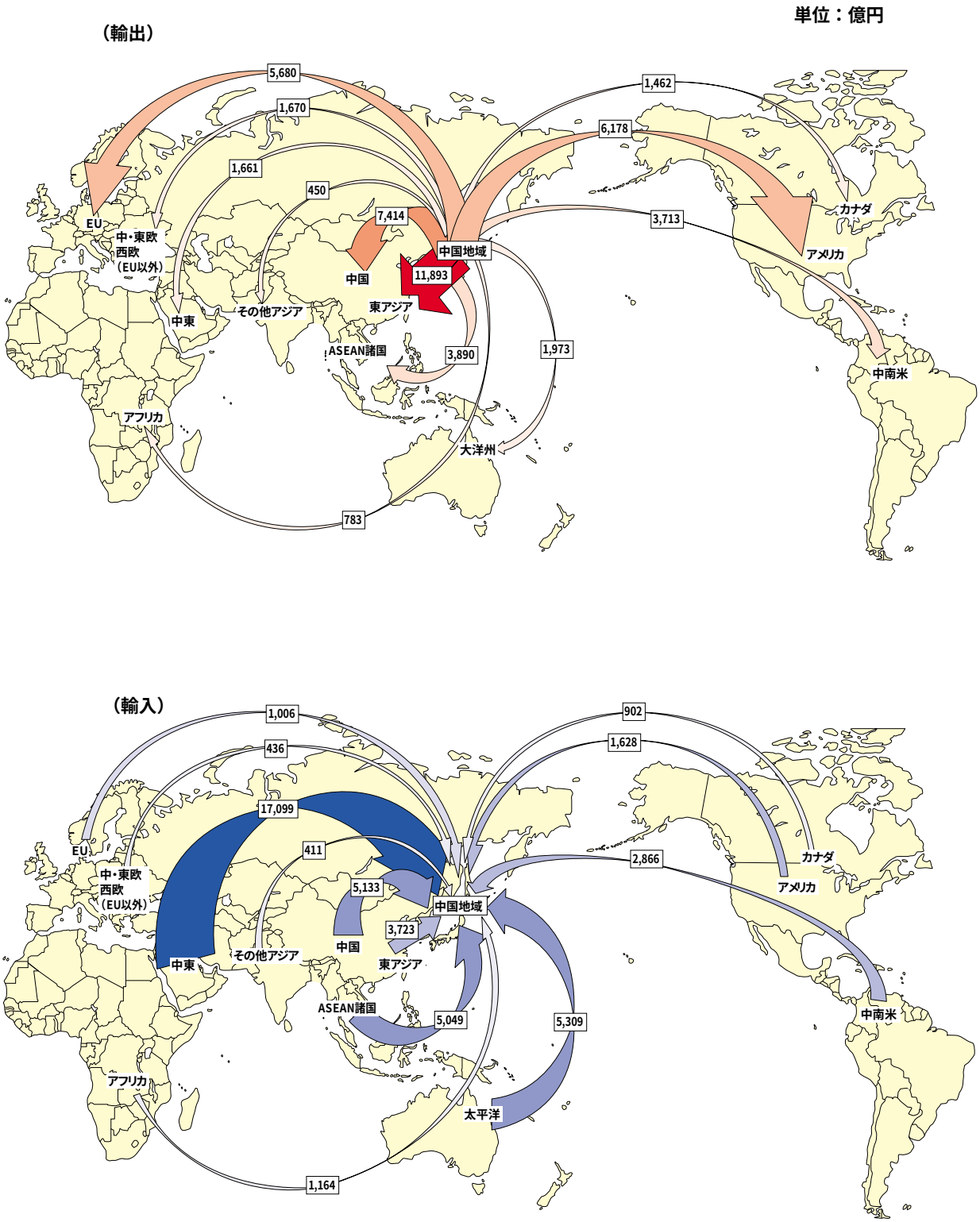
図１　中国地域の輸出入の推移





資料：神戸税関「中国圏貿易概況」

図２　中国地域の輸出入における品目別寄与度



（注） 上記の地域分類は，財務省の貿易統計に準じている（ただし東アジアは韓国，台湾，香港の2カ国1地域の合計値）
資料：神戸税関「中国圏貿易概況」，財務省

図３　中国地域と諸外国との貿易関係（2006年）

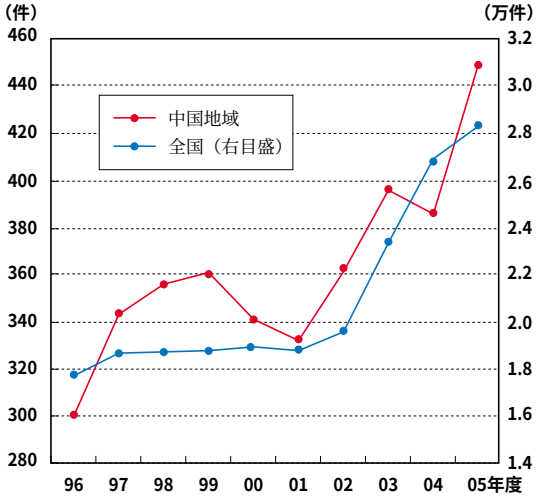
3 中国地域の企業の海外進出

経済のグローバル化により，日本企業の海外現地工場の立地，資本提携，合弁会社の設立などが進展している。企業の海外展開の状況は，海外への直接投資実績（図4）から把握できる。日本全体での直接投資残高（2006年末）をみると，アメリカ（18.6兆円）と西欧（14.1兆円）が大きいのは，かつての貿易摩擦解消のための現地化や営業拠点の開設などの理由による。

近年では，人件費コストが安価で市場規模も大きい中国を中心とするアジア諸国に対し，基礎素材，加工組立などの製造業をメインとする直接投資が拡大している。

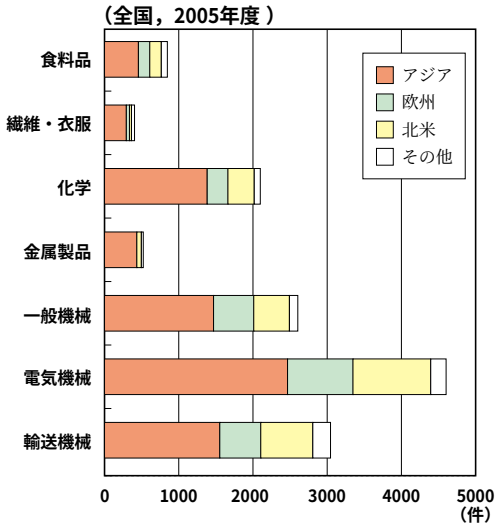
中国地域の企業による対外直接投資や現地法人などに関する詳細なデータはないものの，全国同様に当地域においても，企業の海外進出が起きている。企業の海外子会社数（図5）は，2001年度末の333件から2005年度末には450件となり，着実な増加基調で推移している。

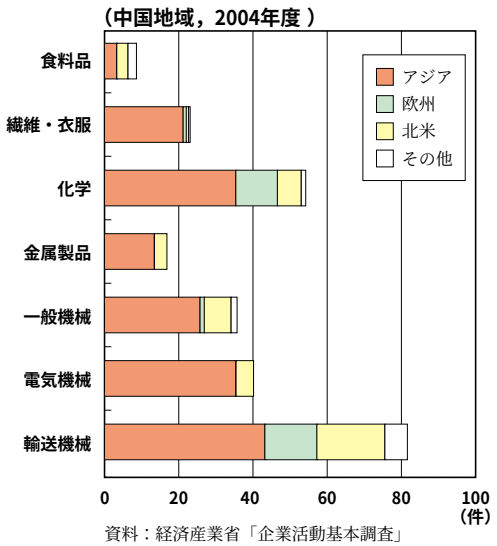
海外への進出先（図6）をみると，全国，中国地域とも業種を問わずアジアへの進出割合が高い。全国では機械系業種は欧州や北米の割合も比較的高いが，中国地域では輸送機械以外はほとんどがアジアへの進出となっている。また，当地域の産業構造を反映して輸送機械や化学の海外子会社数が多い。



資料：経済産業省「企業活動基本調査」

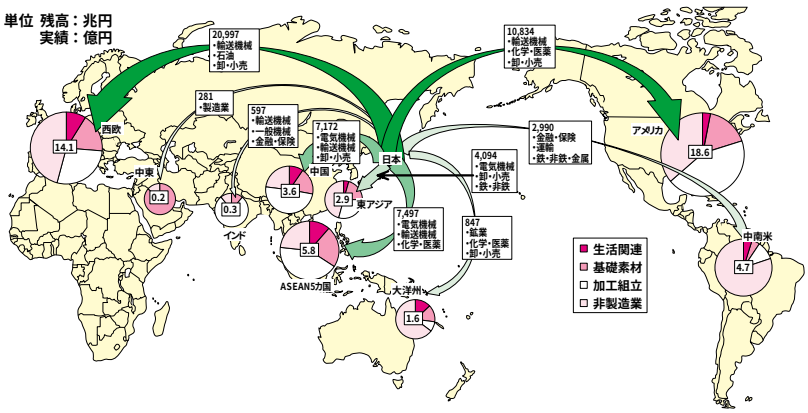
図５　海外子会社数の推移





資料：経済産業省「企業活動基本調査」

図６　製造業における主要業種別の海外子会社数



（注）1.図中の円グラフは直接投資残高と業種別内訳を示しており，上に記載された数値は直接投資残高を示す。また，矢印は2006年に行われた直接投資実績（実行ベース）を示しており，矢印上の囲みは投資額および投資を行った上位3業種を示している。
2.上記の地域分類は，日本銀行の国際収支統計に準じている（ただし東アジアは韓国，台湾，香港の2カ国1地域，ASEAN5カ国はインドネシア，マレーシア，フィリピン，シンガポール，タイ）
3.産業分類は以下の通り（ただし，秘匿値があるため，産業別割合は必ずしも正確ではない）
基礎素材：木材・パルプ，化学・医薬，石油，ガラス・土石，鉄・非鉄・金属
加工組立：一般機械，電気機械，輸送機械，精密機械
生活関連：基礎素材，加工組立を除く製造業，また，基礎素材の秘匿値を含む
資料：財務省・日本銀行「国際収支統計季報」

図４　わが国から海外への直接投資実績と投資残高（2006年）

4 BRICsと中国地域

最近，これから発展していく可能性のある新興工業国としてブラジル，ロシア，インド，中国の4カ国が有力視されており，国名の頭文字をとってBRICsという略称で呼ばれている。中国地域の企業においても，ここ1年間程度をみても，BRICs諸国への投資計画，貿易関係，業務提携などの様々な動き（表1）がある。ただ，依然として中国向け投資や中国との取引などが目立っており，BRICs諸国の中でも中国の重要性がかなり高い。

5 おわりに

以上，特集テーマの内容の一部を紹介しましたが，白書では，この他にも様々な統計資料や中国地域の製造業に対するアンケート調査などから，当地域のグローバル化戦略を検討しています。今回のテーマ全体に関心を持たれた方は，社団法人中国地方総合研究センターのホームページから注文できますので，ご一読いただければ幸いです。

表１　中国地域の企業によるBRICs諸国向けの海外投資や貿易・業務提携

相手国等		会社名 / 所在地		内容	公表年月	
拠点設置・拡充 / 増産体制確立						
中国	上海	日本セラミック	鳥取市	赤外線センサーを増産。	2007	3
	河南省	イノテック	岡山市	機械部品製造。初の工場整備。100%出資子会社が運営。	2006	12
	昆山市	池田製紐所	倉敷市	工場新設。日系アパレル企業の中国進出による需要増に対応。	2007	1
	福州市	丸五ゴム	倉敷市	新工場整備。三菱自動車系列の自動車メーカーを中心にゴム部品を供給。台湾との合弁法人が運営。	2007	1
	江蘇省	コアテック	総社市	新工場設立。自動車製造用機器を生産。初の海外工場。	2007	2
	大連	タツモ	井原市	新工場を整備。電子部品の搬送用テープを製造。上海に次ぎ2ヵ所目。大連市周辺の取引先が増え輸送コストを削減。	2007	5
	広州市	西川ゴム	広島市	自動車用ゴムシールを製造する100%出資の新工場が稼動。上海の子会社での生産工程の一部を移管。	2007	2
	瀋陽市	あべダンボール	東広島市	食品保冷用の紙容器の内部部分を生産する新工場を2007年夏に本格稼動予定。中国企業に委託していたが生産拡大とコスト削減のため現地法人を設立し自社生産する。	2007	3
	北京	三菱重工業紙・印刷機械事業部	三原市	現地合弁工場で製造した小型枚葉印刷機が完成し中国市場に出荷開始。	2006	12
	大連	岡田水産	長門市	水産食品加工工場建設。2007年９月完成予定。新工場では日本向けだけでなく中国，欧米向けも目指す方針。	2007	2
	上海	丸善製薬	尾道市	全額出資子会社設立。中国市場に営業拠点を築き販路を拡大。	2007	5
	南京市	マツダ	安芸郡府中町	長安汽車グループとフォードモーターとの合弁工場で小型車向けエンジンを量産開始。現地に進出した広島の部品メーカーと共同生産。部品の半数は現地で調達し残りは広島から輸出。	2007	4
	大連	リョービ	府中市	同社国内工場向けに自動車部品を中心とした，ダイカスト製品の金型を生産する現地製造販売会社の工場が稼動。2007年11月から上海GM向けダイカスト製品の量産も開始。	2006	12
	湖南省	原弘産	下関市	現地の不動産開発会社などとマンション分譲販売などを手がける合作企業を６月にも設立。	2007	5
	浙江省	トクヤマ	周南市	2007年度末，乾式シリカの新工場が稼動。徳山製造所に次ぐ乾式シリカの生産拠点。	2007	5
インド	―	ゼノー・テック	岡山市	金型メーカー。2，3年後には営業拠点設置を計画。	2007	2
	チェンナイ市	サタケ	東広島市	2006年11月，チェンナイに営業所開設。2007年秋には中部ライプールにも開設予定。既に５月に，ニューデリーのインド支店を法人化し，現地法人「サタケ・インディア」設立。	2007	2
	チェンナイ市	フマキラー	廿日市市	2007年１月，合弁会社の株式を74%に引き上げ，子会社化。	2007	2
取引開始						
中国	大連	C&Eジャパン	境港市	プラスチック類を輸出して加工し，日本へ再輸入する国際リサイクル事業開始。	2007	3
	青島	浜田ー釜山間コンテナ船	浜田市	青島まで航路延伸。江津市内の企業が凍結防止剤を輸入。	2006	12
	上海	難波プレス工業	倉敷市	2008年春から自動車メーカー「中順汽車」と取引開始。北京市に設立した台湾との合弁生産会社を通じSUVシートを供給。	2007	4
	黒竜江省	みのる産業	赤磐市	農業機械メーカー。来年から田植え機を本格輸出。	2007	5
	―	フジミツ	長門市	2007年４月，上海へレトルトパック入りおでんの輸出を開始。	2007	3
ロシア	―	北陽アルミ建具製作所	浜田市	自社製造の木製ドアを初輸出。ウラジオストックへの中古車の輸出船を利用。	2006	12
ブラジル	―	大村塗料	鳥取市	自社開発の機能性無機塗料の中南米輸出を開始。ウルグアイ本社のコンサルティング会社と代理店契約しブラジルなど７カ国で販売。	2007	3
業務提携等						
中国	―	塩見ホールディングス	広島市	中国の子会社で採用した中国人社員が日本で設計業務を担当する勤務体制を導入。	2007	5
	浙江省	常石造船	福山市	2007年９月，造船技術者養成の専門学校開設予定。	2006	12
	―	長府製作所	下関市	システムバスの浴槽の製造技術を中国企業に供与。	2007	3
インド	チェンナイ市	トーヨーエイテック	広島市	販売代理店としていたインドの工作機械メーカーと工作機械の生産，販売，メンテナンスで業務提携。技術供与しインドメーカーで生産。	2007	3

資料：新聞情報ほか